

〔 A類現代教育実践コース環境教育プログラム 対象 〕

総合型選抜 問題

令和7年度

052

小論文

(1枚目)

次の問1、問2の両方を解答せよ。

問1 次の文章を読み、食生活のあり方と地球温暖化の関連について小学校においてどのように教えるのがよいと思うか、あなたの考えを600字以内(句読点等を含む)で述べよ。

国連食糧農業機関 (FAO) によると、世界の温暖化ガス (GHG) の総排出量のうち、畜産分野は14.5%を占める。とりわけ牛は大量の餌や水が必要なほか、ゲップやおならにメタンが多く含まれGHGの排出量が多い。家畜別のメタンの排出割合で牛は7割超を占める。

国連環境計画 (UNEP) は植物性食品の活用や代替肉への切り替えなどを提言するが、一気にカジを切るのは難しい。そこで、畜産の環境負荷を低減させる技術に注目が集まっている。代表的な手法として飼料や栄養管理上の工夫が挙げられる。アミノ酸バランスを改善する飼料、牛の餌に混ぜるとゲップ由来のメタンを抑える海藻などがある。

(出典：日本経済新聞 2024年5月12日朝刊)

問2 あなたの身近な地域で起きている環境問題を一つ取り上げ、その環境問題の内容とそれが生じている仕組みを説明しなさい。600字以内(句読点等を含む)で解答すること。